

# プログラム近況報告

スワジランド王国 シェウラ地域開発プログラム (SWZ-186252)

2013年度(2012年10月1日～2013年9月30日)



支援により完成した小学校の家庭科教室の前で喜ぶ子どもたち

シェウラ地域開発プログラム(以下、ADP)は、活動を開始してから5年が経ち、第一期(5年間)最後の年となりました。第一期の終了に伴いこれまでの活動の評価を実施し、子どもたちが健やかに成長するために必要な環境が改善され、持続されるという目標達成のため、ADPが大きく貢献したことを確認することができました。

具体的には、子どもたちが質の高い教育を受けられるようになり、HIV/エイズの予防、治療、正しい知識が普及し、また水質に起因する疾病が以前に比べ減少し、さらに、家庭内の衛生環境が改善されています。

## チャイルド・スポンサーの皆さま

日ごろより、チャイルド・スポンサーシップを通して、温かいご支援を賜りまして、心より感謝申し上げます。

2013年度の活動報告として「プログラム近況報告」と、チャイルドの「成長報告」をお届けいたします。昨年度も活動を進めることができましたのは、子どもたちを思い、継続的にご支援をくださる皆さまのおかげと、感謝しております。この1年の地域支援における活動の成果、今後の課題をご確認いただくとともに、チャイルドの成長をともに喜んでいただけますと幸いに存じます。

皆さまのチャイルド、そしてすべての子どもたちが健やかに成長できる地域となることを目指し、活動を続けてまいります。

皆さまの尊いご協力を、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



特定非営利活動法人  
ワールド・ビジョン・ジャパン  
常務理事・事務局長

片山 信彦

## ADPマネージャーからのごあいさつ

シェウラ地域の子どもたちと人々のために、たくさんのご支援をいただき、心より感謝申し上げます。皆さまの温かいご支援により、子どもたちが健やかに成長できる環境づくりなど、様々な活動を行うことができました。皆さまの熱意に心から感謝いたします。

2013年度は、これまで継続してきた活動を行うと同時に、次の5年間に向けた計画づくりを行いました。たくさんのご支援への感謝とともに、引き続きのご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

グチノワヘ ルヘレ (シェウラADPマネージャー)



## 水・衛生プロジェクト

以前は動物も同じ湧き水を飲んでいたので、水質が汚染され病気の原因となっていました。4つの湧き水場に覆いをつけて保護したことで、水質が確保され250世帯が清潔な水を汲めるようになりました。これまで安全な水を汲める水源まで歩いて往復1時間以上かかっていましたが、近くの湧き水場が保護されたことにより、30分以内で安全な水を汲めるようになりました。周囲のやぶの整備も同時に行い、水汲みに行く子どもたちの安全も確保できるようになりました。



湧き水場を保護する覆いをつける工事が完了し、喜んでいる子どもたち



地域内で最近保護工事をした湧き水場にいる子どもたち。一人は湧き水場の蛇口で喉をうるおしています



地域で行われた湧き水保護工事に、住民たちも参加しました

## 栓を開くと水が出てくることを生きているうちに経験できるとは夢のようです！

整備された湧き水を利用するマシムラさん(63歳)は安全な水が利用できるようになり、喜んでいます。「これまで水が少しずつしか出なかったので、毎朝早く起きて、やぶの多い森の中まで水を汲みに行かなければならず、孫たちも水汲みのために学校に遅刻してしまうことがありました。今では、栓を開くだけで、貯水槽から安全な水を汲めるようになり、まるで夢のようです。何より子どもたちが安全な水を飲めるようになって感激です」人々の健康に欠かせない安全な水を、地域のより多くの人々が得られるよう引き続き支援を行います。



覆いをつけた湧き水場に水を汲みに来たマシムラさんの孫のムドウドウ君(最後方)。子どもたちだけでも安心して湧き水場に行けるようになりました



覆いで保護された湧き水の汲み場を喜ぶマシムラさん

## 教育プロジェクト

昨年度から増築工事を進めていた小学校の教室が完成し、子どもたちはより改善された環境で学習できるようになりました。また、シェウラ地域にある学校3校で、教師に対して宿舍を提供するなど勤務条件を改善しました。今では、ほとんどの教師たちは家から学校まで長い時間をかけて学校に通うこともなくなり、生徒たちのためにより多くの時間を課外授業にあてるな



ワールド・ビジョンが小学校に増築した教室の前で喜ぶ子どもたち

ど、有効に時間を使えるようになりました。このことにより、さらに質の高い教育を子どもたちが受けられると期待されています。

また、教師に対し、上から強制的に押さえつけて指導するのではなく、子どもたちの自主性を重視した指導を行う指導方法について研修を行いました。



子どもたちの能力を伸ばす指導方法について学ぶ教師たち

## HIV／エイズ対策プロジェクト

昨年度に引き続き、関係者と協力しながらスワジランドで深刻な問題となっているHIV/エイズの予防や治療、そして正しい理解を深めるための活動を行いました。

出産適齢期の女性を対象に、母子感染予防活動を行い137人が参加しました。また、住民を中心にHIV/エイズの問題に取り組むグループが今年度は2つ新たに活動を始めました。これらの住民組織の活動は、養鶏や縫製などの事業を行い収入を得ることで、HIV/エ



支援された看護師宿舎に住む看護師。看護師が常駐できるようになり、地域の診療所の利便性が向上しました

イズで親を亡くした遺児や弱い立場にある子どもたちのために食料や衣服を支援すると同時に、日常生活におけるケアを強化・推進しています。教会などの宗教団体とも協力して活動を行っており、地域でのHIV感染者への偏見や差別も改善しつつあります。

そのほか、地域の診療所に勤める看護師のための宿舍を2戸建設しました。看護師が近くに住むことにより子どもたちが必要な看護サービスをいつでも受けられるようになりました。

## 会計報告

### 収支計算書

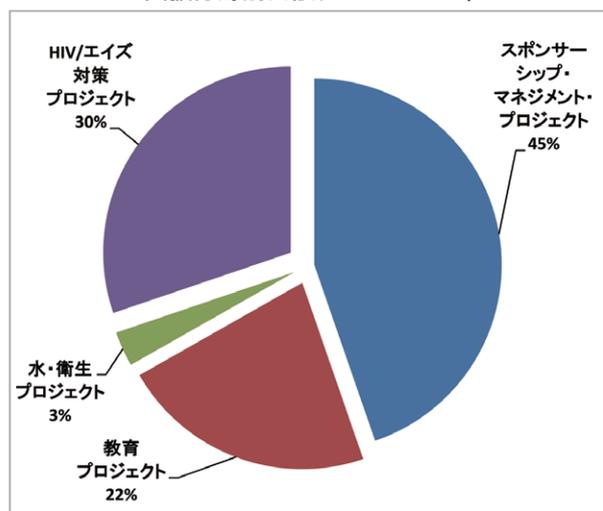
自 2012年 10月1日 至 2013年 9月30日

	SWZ-186252 (単位:円)
<b>プログラム支援額</b>	
チャイルド・スポンサーシップ	59,635,196
当期支援額	59,635,196
前期繰越金	7,082,230
<b>プログラム支援額合計</b>	<b>66,717,426</b>

<b>プログラム支出額</b>	
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	27,507,863
教育プロジェクト	13,535,340
水・衛生プロジェクト	1,851,330
HIV/エイズ対策プロジェクト	18,598,802

<b>プログラム支出額合計</b>	<b>61,493,335</b>
次期繰越額	5,224,091

### 支援分野別内訳( SWZ-186252 )



## スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

「スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト」では、チャイルドとの手紙の交流や毎年の成長報告などを通して、支援の成果を実感していただくための活動を行っています。そのため、チャイルドの成長を定期的にモニタリングし、支援事業がチャイルドとその家族、さらに地域の人々の生活をどのように改善しているのか確認を行っています。また、チャイルドの家族や地域の人たちが「子どもを中心とした開発」を理解し、その支援活動の中心を担っていくような啓発活動も行っています。

この一環で、地域内3つの小学校に通う約500人の生徒が「アフリカ子どもの日」に児童の権利と虐待の問題について学びました。



アフリカ子どもの日に、「子どもの権利」や虐待から身を守る方法について警察官から学びました。子どもたちが知識を身に付け、自分を自分で守る行動を取れることを目指しています



支援された貯水槽から水を汲む子どもたち。水汲みにかかる時間を短縮できるようになりました



地域の診療所に設置した黄色い列車で遊ぶ子どもたち。子どもたちが診療所に親しみを持つために役立っています



鶏の餌やりをするマシュワマさん。孤児や弱い立場に置かれた子どもたちの食料や衣服、そして、心のケアを行う住民組織のメンバーとして活動しています



支援を受けている子どもたちとマシュワマさん。孤児や厳しい状況にある子どもたちにとって、自分のことを支えてくれるかけがえのない存在です

お問い合わせ

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン

電話：03-5334-5351 FAX:03-5334-5359

e-mail：dservice@worldvision.or.jp ホームページ：www.worldvision.jp

ワールド・ビジョン・ジャパンの活動についての最新情報を掲載しております。ホームページにぜひお立ち寄りください。

# プログラム近況報告

スワジランド王国 ゲゲ地域開発プログラム(SWZ-189622)

2013年度(2012年10月1日～2013年9月30日)



学校で楽しく過ごす子どもたち

**学校、病院、行政、ほかの援助機関など、  
様々なパートナーと協力しながら、  
子どもたちが心身ともに健やかに生きることができるよう活動しています**

ゲゲ地域開発プログラム(以下、ADP)は、プログラム開始から3年目となる2013年度、子どもたちが教育を受け、地域や家庭の中で守られながら、心身ともに健やかに成長できることを目指し、様々な活動を実施しました。ADPの活動により、皆さまにご支援いただいているゲゲ地域の子どもたちの学習環境は改善しつつあり、授業への出席率も向上したほか、トイレや水道といった衛生設備の改善も進んでいます。また、家庭内暴力や児童虐待といった問題についての研修を地域内の親や子どもたちに対して行い、子どもたちが生き生きと暮らせる環境作りにも貢献しています。そのほか、出生登録がされていない181人の子どもたちが、今後教育や医療を受ける際に必要となる出生登録証明書を取得することができました。



机やイスが支援され、学習環境が整えられています



出生登録証明書を手にして笑顔を見せる子どもたち

## チャイルド・スポンサーの皆さま

日ごろより、チャイルド・スポンサーシップを通して、温かいご支援を賜りまして、心より感謝申し上げます。2013年度の活動報告として「プログラム近況報告」と、チャイルドの「成長報告」をお届けいたします。昨年度も活動を進めることができましたのは、子どもたちを思い、継続的にご支援をくださる皆さまのおかげと、感謝しております。

この1年の地域支援における活動の成果、今後の課題をご確認いただくとともに、チャイルドの成長をともに喜んでいただけますと幸いに存じます。

皆さまのチャイルド、そしてすべての子どもたちが健やかに成長できる地域となることを目指し、活動を続けてまいります。

皆さまの尊いご協力を、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人  
ワールド・ビジョン・ジャパン  
常務理事・事務局長

片山 信彦



## 経済開発プロジェクト

子どもたちがしっかりと食事を取り、必要な健康管理や教育を受けることができるようになるためには、各家庭の親や保護者たちが経済的な力を身に付ける必要があります。また、親を失ったり、障がいを抱えている子どもたちを支えられるよう地域の体制も整えていかなければなりません。これらを実現するために、2013年度よりADPによる経済開発プロジェクトが始まりました。今年度は、11のチーフドム<sup>\*</sup>に対して貯蓄融資組合の活動を紹介します、そのうち2つのチーフドム内にある合計20のグループが、この活動を始めることになりました。貯蓄融資組合のメンバーは、グループとして貯金をするため定期的に集まり少額を出し合っています。各メンバーは自分がこれまでに貯蓄した金額に応じて融資を受けることができ、融資されたお金で農業や裁縫等に必要な機材を調達し、収入創出活動を始めています。

そのようなグループの1つである、リツエンバ・ラセマショベニ協同組合は養鶏を行うほか、自分たちで作った鶏用の餌など、養鶏関連の商品を販売するための商店を開設しました。このグループは非常に貧しい家庭の子どもや遺児のために靴を支援したり、地域内にある小学校に通う児童のために収穫したメイズ（トウモロコシ）を寄付したりと、地域に対してもしっかりと貢献しています。

<sup>\*</sup>スワジランドは4つの地方に分けられ、その下にティンクドラ（Tinkhundla）、さらにその下にチーフドム（chiefdom）が行政単位として設けられています。チーフドムはいくつかの集落がまとまった1つの地域といった形です。



ワールド・ビジョンの支援により建てられた、リツエンバ・ラセマショベニ協同組合が運営するお店



貯蓄融資組合の会議に参加するメンバー



貯蓄融資組合の働きと仕組みについて説明を受ける地域の人々

## ADPマネージャーからのごあいさつ

ゲゲADPに暮らす地域の人々、子どもたち、開発委員会（ADPの活動に協力する地域住民による委員会）、ADPスタッフ一同より日本の皆さまへ心からの感謝をお伝えします。今年度はスポンサーシップ、経済開発、保健・栄養の分野で活動を進めてまいりました。皆さまからのご支援により、このような成果をご報告できますことを心より感謝申し上げます。

ムントウ・シメラネ（ゲゲADPマネージャー）



ADPマネージャーと子どもたち

## 保健・栄養プロジェクト

私たちは地域のパートナーと協力しながら活動を進めています。今年度は、スワジランド保健省公衆保健課と協力し、2つのチーフドムで地域の衛生環境を改善するための研修を住民参加型で行い、住民自身が家庭や地域の環境を清潔に保つことで、様々な疾病の予防ができることを学びました。また、子どもたちへの予防接種キャンペーンを展開し、1,185人の子どもたちが予防接種や医師による診察を受けることができました。ほかにも医療系NGOと協力し、HIV/エイズの予防のための啓発活動や検査も実施しました。

換気口付改良型トイレ建設のための資材が、地域内で最も経済的に貧しい100世帯に対して支援され、各世帯で建設が進められています。うち30世帯では建設が完了しました。衛生管理に関する啓発活動も行われ、子どもたちがより清潔な環境で暮らすことができるようになることと期待されています。また、105世帯に対して給水システム整備が進められており、安全な水へのアクセスが改善されました。

※※ 煙突型の通気口を作り、ハエや匂いを便器ではなく通気口の方に誘導できるよう工夫したトイレです。ワールド・ビジョンが活動する国ではよく作られるタイプのものです。



支援で建設されたトイレの前に立つ子どもたち



105世帯に安全な水を支援するための給水システム整備プロジェクトは、地域の人々の積極的な参加と協力によって進められています

## スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

「スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト」では、チャイルドとの手紙の交流や毎年の成長報告などを通して、支援の成果を実感していただくための活動を行っています。そのため、チャイルドの成長を定期的にモニタリングし、支援事業がチャイルドとその家族、さらに地域の人々の生活をどのように改善しているのか確認を行っています。また、チャイルドの家族や地域の人たちが「子どもを中心とした開発」を理解し、その支援活動の中心を担っていくような啓発活動も行っています。



地域で開かれたクリスマス会で歌を歌う子どもたち

### 子どもたちが気持ちよく学べるよう学校の教育環境整備を行っています

地域の子どものための教育環境を向上させるため、今年度は2つの小学校に対して140脚のイスと机や、家庭科の実習室用の40脚のイスと机を支援しました。これら2校では、写真にあるような机を4人以上で共有しなければならなかったのですが、支援により各生徒がイスに座り、机の上にも十分なスペースを得て勉強できるようになりました。両校の校長は、子どもたちが地べたに座ったり、立ったままで授業を受けなければならなかったときのことを思い返し、支援の成果に心から感謝しています。



教育環境が整備される中、授業に集中できるようになりました

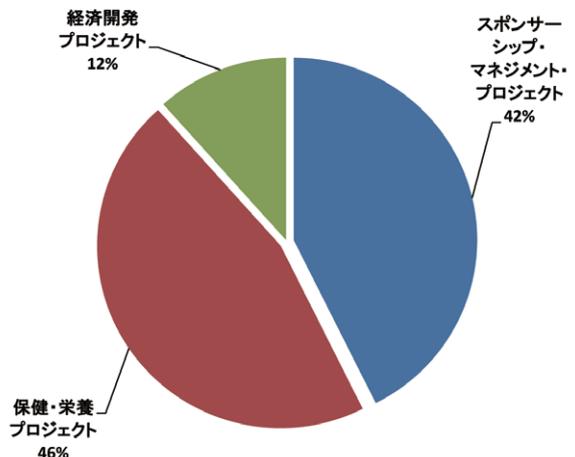
## 会計報告

### 収支計算書

自 2012年10月1日 至 2013年9月30日

プログラム支援額		SWZ-189622 (単位:円)
チャイルド・スポンサーシップ		34,140,660
当期支援額		34,140,660
前期繰越金		2,849,770
プログラム支援額合計		36,990,430
プログラム支出額		
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト		11,661,767
保健・栄養プロジェクト		12,518,615
経済開発プロジェクト		3,186,145
プログラム支出額合計		27,366,527
次期繰越額		9,623,903

### 支援分野別内訳( SWZ-189622 )



お問い合わせ

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン

電話：03-5334-5351 FAX：03-5334-5359

e-mail：dservice@worldvision.or.jp ホームページ：www.worldvision.jp

ワールド・ビジョン・ジャパンの活動についての最新情報を掲載してあります。ホームページにぜひお立ち寄りください。